

花園での勇姿を期待

～着任に際し～

修猷館 新館長 奥山 訓近

この度の人事異動で春日高校から中島利昭前館長の後任として着任いたしました。

ラグビーが縁で、歴史と伝統を誇る修猷館ラグビー部OBの皆様に、ご挨拶の機会を与えていただき感謝申し上げます。

私ごとで恐縮ですが、約14年前に日頃の運動不足の解消と刺激を求めて、地域の少年ラグビークラブ（幼稚園から中学生まで）のコーチに加えていただきました。現在は満足に走れないためコーチ失格となり中学コーチの相談役（副会長）という立場ですが、中年おじさんの非行防止効果を実感するとともに、同クラブのコーチ・保護者（多岐にわたる業界・職種の人があります）との親交や、長いスパンでの子どもたちの成長・変化をとおして私自身が多くのことを教わっています。

「あの出会いが人生を変えた」と言う人は数多いのですが、私の場合は間違いなく城南高校での故三野紀雄先生、ラグビー、その仲間達でしょう。当時は4K?（きつい、怖い、危険、汚い?）のイメージを持つ人が多い中、本能的にラグビーの魅力を感じ入部してきた猛者は皆、間違いなく好人物でした。

ラグビーは、one for all, all for one という精神の下、分業と協業が常に混在しチームとしての総合力で戦う魅力ある競技で、チームの意思統一をベースに各選手が刻々と変化する状況に応じて瞬時に判断し動くことが求められます。きつく苦しいときでも自らの体を張って責任を果たすプレー、目立たない所でも手を抜かないプレーを評価する競技であり、また個性にふさわしい適材適所のポジションがあるなど、社会のいろんな組織の中での仕事の進め方と共通するところがあると感じています。

今の修猷でも、勉強との両立に悩み、もっと自由な時間が欲しいという葛藤の中で、ほとぼしる青春のエネルギーをラグビーに注ぐ眩しい姿があります。同じグラウンドで走り、スクラムを組み、タックルし、汗し涙する仲間がたくさんいる。これからずっと、その仲間を大切にし、皆、まっすぐに生きて欲しいとエールを送っているところです。

近く、花園でその勇姿を見せてくれることを期待し、微力ながら私も力を尽くしたいと思っています。今後も現役諸君及び関係者への叱咤激励と温かいご支援をお願い申し上げますとともに、OBの皆様方のご活躍とOB会の益々の発展を祈念いたします。

※別にご案内していますが平成24年度年会費の納入にご協力をお願いいたします。

★年会費 7,000円(学生 3,000円、70歳以上 5,000円)

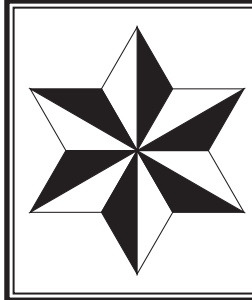
★振込先 西日本シティ銀行 西新町支店 普通 1336258 修猷館ラグビーOBクラブ

● 発行 / 修猷館ラグビー部OBクラブ

事務局 / 松尾 邦雄 (S46卒)

〒811-1347 福岡市南区野多目5-10-45

T E L 092-541-5503
携 帯 090-3012-0903
F A X 092-551-7290
E-mail mactaiho@san.bbiq.jp



修猷館ラグビーOBクラブ

会報 平成24年7月号

修猷館ラグビー部 公式ホームページ
URL <http://rugby-shuyukan.com/>

岡本圭吾顧問（50）がこの春、香椎工高の教頭に昇任した。2008年（平成20年）に第9回全国高校選抜大会（埼玉）に初出場したのをはじめ、九州大会に4回（新人戦2回を含む）駒を進めた。1981（昭和56年）卒のOB指導者として9回目の全国高校大会出場こそならなかったが、確かな足跡を残した。1991年（平成3年）に赴任してきてからの21年間を振り返ってもらった。



SPECIAL THANKS

「来た時、少し気になったのは、部員たちは運動会もまともにやらない、ひねくれている状態。修猷の先生に好かれていなかった。ラグビーでなくても何かに一生懸命打ち込んでいたらいいが、斜めを向いているような感じ。僕の赴任が決まり、やめた部員も数人いたと聞いた。要するに、そんな緩い雰囲気だった。『お前たち目標は何か』と聞いたら、県大会出場ですと言っていた」

91年当時、16校で競う県大会に中部支部から出場できるのは7校。修猷のレベルは、そこに行けるか行けないか程度だった。

「3年生は草場たちで、やる気、チームを変えたいという気持ちはあった。この代が非常に馴染んでくれて、その年代から下のOBをまとめてくれている。うまく人間関係を作れたのは大きかった」

この代は全国大会県中部支部予選の初戦で敗れ形として結果は残せなかったが、次の新チームが新人戦で県大会出場を果たすなど、少しずつ力をつけていった。

「部員は少なく、苦しさだけを味わっていた。ただ、一生懸命やる下地はできた。だから、いい選手が入ってくれば、どうにかなりそうな雰囲気はあった」

赴任翌年の新入生の代の担任となり、力のある選手も入部してきた。

「僕が行ったからといって、生徒はすぐに慣れない。やる気はあった。ただ、追い込んでも、なかなか追い込み切れなかった。初めて担任した代は、真っさらな状態からその雰囲気の中でもまれ、3年目で花開いた。その一つ下に、川崎らしいメンバーも入ってきた。全国大会の予選で東福岡に勝ちそうになったことを覚えている」

94年（平成6年）の第74回全国高校大会県予選準決勝。東福岡に18―37で敗れた。途中まで勝負の行方はわからなかったが、東福岡が徹底したキック攻撃に切り替え流れが変わった。そして、新チームになった翌年の第17回全九州高校新人大会県予選の1回戦で東福岡を破ると、勢いに乗り決勝では筑紫を退け初優勝。初出場した九州大会Bブロックではコザ（沖縄）、長崎北陽台を連破し、決勝で佐賀工に10―24で惜敗した。ただ、強過ぎたために思わぬ弊害も。この年の1年生は激しい練習などを警戒したのか入部が少なかった。全国大会の県予選では準々決勝で筑紫丘に足元をすくわれた。

岡本修猷で最強と言われたのが、2000年（平成12年）のチーム。

「橋本、児島ら3年のメンバーが多く、2年に三角らしい選手がいた。全国でも十分戦えた。でも、全国大会に行けなかった。指導者が悪い、反省している」

とんがって、カッコいい男に

新人戦では準決勝で東福岡に4点差負け。九州大会県予選決勝では東福岡に10―0から逆転負け。第80回全国大会県予選。準決勝で筑紫に1点差で涙を飲み、その筑紫は3点差で東福岡に敗れた。

翌年、初めて全国大会県予選で決勝まで駒を進め、2004年（平成16年）にも2度目の決勝進出を果たしたが、ともに東福岡に14―24、12―44で敗れた。

「決勝へ進んだ最初の時は指示の声が通らないということが強く印象に残った。しかし、東福岡が全国大会で準優勝するなど両方の代とも差は大きく、勝負にはならなかった」

公立校としての健闘が認められ、2008年に全国高校選抜大会にチャレンジ枠で出場。全国規模の大会に出るのは1978年（昭和53年）の第57回全国高校大会以来、30年ぶりだった。青森北には負けたが、明大中野（東京）に快勝して意地をみせた。

「自分の特技とか、秀でたものを一つ作ってほしい、とずっと思ってきた。それはプレーでもいいし、何でもいい。一人ひとりの頂点と頂点を結びつけられれば、強い相手と戦える。個人のとんがり、特性ができあがれば、『俺は修猷だ』というプライドが持てる。チームにしても、何かとんがりを作ってほしい。ほかの学校にないもの。それが、何なのかは自分たちで考えてほしい。ガンガン鍛えているときに一番言ったのは『何でもいいから、日本一になろう』。目指したのは、練習時間が短いから、単位時間に動いている量。足の速さでは日本一になれないし、パワーも一番になれないし、走る総距離も日本一にはなれない。いかに単位時間に動き、声を出して、気合を入れられるか。せっかちな練習だったけど、ガンガン動かす。誰もラグビーが楽しいとは言わなかった。ただ、仲間がよかったから、最後まで残ってくれた」

「ずっとテーマにしてきたのは、カッコいい男になろう、ということ。何がかっこいいかは、一人ひとり違う。自分自身でそのかっこ良さが理解できた時、皆、男になっていく。かっこ良さを追求すれば、たとえ、レギュラーになれなくても、3年間、ラグビーをしていてよかったと思ってもらえるだろう、と。最終学年になったら生徒が不思議といいこと言うようになった」

「生徒との思い出はそれぞれの学年で全部違う。その学年の個性も違うし。そのすべてが思い出。自分の思い出というより、子どもたちの思い出が自分の思い出になっている。あいつがこんなことを言って苦しんでいた。あの時の仲間がこんなだった……。これは教員の宝だと思う。皆の思い出で遊べるというか、つくづく幸せだと思っている」

よろしくお願いします

本年度より、保健体育の講師として修猷館に赴任し、ラグビー部の顧問をさせていただいております。母校で働ける喜びと感謝の気持ちで毎日を過ごしています。

修猷館でラグビーに出会い、もうすぐ10年を迎えようとしています。

今、グラウンドにいと、当時の厳しさが薄れているなあと感じます。いつの時代も「最近の若い者は・・・」と言われてきましたが、今はそうした声が必要だと思います。（当時グラウンドに足を運んでいただいたOBの方のご指導のおかげだと感じています。）

OBの方には、これからもどんどんグラウンドへ足を運んでいただき、「修猷のラグビーとは」どういったものかということを生徒に伝えていただきながら、私自身も叱咤激励を受けたいと思う次第です。

修猷館ラグビー部を“上手くてきれいなチーム”というよりは“激しくてすごいチーム”にしていきたいと考えております。これからもご迷惑をおかけする場面が多々あるかと思いますが、OBあつてのラグビー部だと思いますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



平成18年卒 山本崇弘（24）

4強に、いかに挑むか―春の大会から―

春の全九州高校大会福岡県予選はまれにみる混戦となった。準決勝の小倉―筑紫、福岡―東福岡はともに引き分けで抽選にもつれた。結局、東福岡が9連覇を達成したが、修猷はこの4強にどうすれば、追いつけるのか。観戦したOBからヒントをいただきながら考えた。

修猷は5月の定期戦で福岡に0―70で惨敗したことを思えば、よく立て直したといえるかもしれない。4回戦で香椎を46―10で退けた後、準々決勝の筑紫には14―34と粘りをみせた。前半は14―14と互角の展開。復帰した永富主将がリーダーシップを発揮、ボールを保持し続けて攻撃時間を稼げれば、競り合いに持ち込めることを証明した。ただ、この4強から30点を取る攻撃力はなく、防御の整備は不可欠。特に福岡戦で組織防御網が崩壊していたのは残念だった。

準決勝を観戦した1983年卒の佐伯智洋さんは、王者・東福岡の懐の深さに感嘆していた。一時は福岡に19点差をつけられながら、焦らず、終盤の3連続トライで引き分けに持ち込んだ。「きつと残り時間と点差を想定しながらの試合形式の練習などまでしていると思う。FWプレーのうまさ選手層の厚さは抜きでているのでは」と振り返る。福岡のBKの決定力も目を引いたという。さらに、小倉の戦いぶりが参考になるのでは、とも。「筑紫がスクラムを押しすぎて反則をとられるほどセットプレーでは劣勢だった。それでも、組織防御がよく、体格で劣っていても勢いを感じた。修猷もチーム一体と

なって動くことを、徹底的に突き詰めれば、夏合宿を経て十分追いつけるはず」とエールを送っていた。

「今季の福高のラグビーが、ひとつのヒントになるのでは」というのは1978年卒の奥山清隆さん。ドクターとして20年以上現場に携わり、高校ラグビーなどを見続けている。ちなみに息子さんは小倉高で活躍しており、新館長はお兄さんだ。福岡はウイング、フルバックを中心にスピードと決定力があり、思い切って外に振って勝負を仕掛けてくる。外側でミスが起きると、東福岡のように洗練されたチームからは一気に逆襲される怖さもあるが、いかに精度を高め、勇気を持って勝負に出られるか。「今の段階では体格が同じくらいの小倉には互角に持ち込めるが、残り三校とはかなり厳しい」と冷静な分析も。現役には一夏超え、見違える姿をみせてほしい。



2012 新入部員

	氏名	ポジション	出身中学クラブ	身長	体重	
1	今井 裕太	PR	長丘中・ラグビー部	175	94	どんぶり2杯はいけます
2	上田 知実	BK	百道中・陸上部	176	71	マラソンが好きです
3	江口 亮	SH	百道中・ラグビー部	165	60	湘南の風を歌う
4	河野 隆大	SO	百道中・ラグビー部	175	66	体育以外はきらいです
5	菊池 太朗	HO	志摩中・ラグビー部	169	68	寝ることが趣味です
6	岸川 和弘	FL	平尾中・春日LR	168	65	中学で日本一になりました
7	喜多 美成	BK	長丘中	164	63	風呂に入ることと変な本が好き
8	古城 隼人	SH	姪浜中・草ヶ江YR	171	74	先々代のCPの弟でつらいです
9	佐藤 智徳	WB	百道中・ラグビー部	170	67	もののけのへんなゲームが好き
10	重松 隆宏	SO	城南中・ラグビー部	178	71	温泉が好きです。黒くなりたい

	氏名	ポジション	出身中学クラブ	身長	体重	
11	柴尾 將希	PR	高取中・城南SC	171	75	JPOPの音楽が好きです
12	新開 滉倫	BK	姪浜中	175	68	野球をみるのが好きです
13	西田 崇将	BK	当仁中・野球部	166	54	野球をやるのが好き
14	西村 厚志	BK	姪浜中・卓球部	168	60	AAAすっぴんが好きです
15	村田 博志	BK	長尾中・筑紫丘RS	173	62	犬といつも遊んでいます
16	山木 康聖	FW	前原中・野球部	167	72	ワンピースファンです
17	横山 浩二	LO	当仁中・草ヶ江YR	180	72	ナルト・銀玉が好きです
18	弥吉 大輔	SH	壱岐中・バスケ部	168	65	初心者ですが、頑張ります
19	金子 真彩	マネージャー	百道中	159	？	ラグビーが大好きで～す
20	関口 佳奈	マネージャー	姪浜中	159	？	マネージャーがやりたかった

平成23年度事業報告

1. 4月29日 福高定期戦（於 修猷館高校G）
OB総会 （修猷館高校食堂）
2. 5月21日 修猷館ラグビーOBクラブゴルフコンペ
（於 唐津CC 12名参加）
3. 5月22日 現役九州大会予選（準々決勝 VS東福岡）（5－71）
4. 7月2日 修猷館ラグビーOBクラブ幹事会（西新）顧問団を囲んで懇親会
5. 7月15日 東京修猷館ラグビーOBクラブ新人歓迎会へ（岡本・渡邊顧問、松尾事務局長出席）
6. 8月 修猷館ラグビー部鹿児島合宿、陣中見舞い（かぐや姫G）
7. 10月4日 修猷館ラグビーOBクラブ幹事会（天神）
8. 10月8日 修猷館ラグビー現役激励会（修猷館食堂）
9. 10月15日 修猷館ラグビー賛助会の集まり（西公園）安部会長・星野幹事長出席
10. 10月30日 修猷館ラグビー全国大会福岡県予選準々決勝 東福岡に敗戦（5－80）
11. 11月26日 OBクラブ主催懇親ゴルフ（唐津CC）
12. 平成24年1月2日 初蹴り OB戦 新年会（西公園 平和楼）70数名参加
13. 1月22日 新人戦 準々決勝 VS筑紫 3－55
13. 3月17日 新OB歓迎会（天神ぴえとろ）

その他. 全国大会予選前のグラウンドに照明設備貸与
. OB用レプリカジャージ販売（8着）

平成24年度事業計画

1. 5月5日 福高定期戦（ジャパン前座、レベルファイブ）
2. 5月19日 修猷館ラグビーOBクラブ総会
3. 6月 幹事会及び顧問団との懇親会
4. 8月 現役夏合宿の陣中見舞い
5. 9月 幹事会
6. 10月 修猷館ラグビーOBクラブ主催現役激励会
ゴールデン・オールデイズ参加
7. 11月 OB懇親ゴルフ
8. 12月 修猷館ラグビーOBクラブ忘年会
9. 平成23年1月2日 初蹴り
10. 3月 新OB歓迎会

その他 OB用レプリカジャージの販売、現役用ヘッドキャップ支援
秋期における修猷館グラウンドの照明の支援
現役強化の件（ボール等練習グッズ寄贈）
ゴールデン・オールデイズ・ラグビー・フェスティバルの件

修猷館ラグビーOBクラブ定時総会

議事録

平成24年5月19日(土) 17時30分
於 Chuna garden 大濠

- ・ 安部会長を議長に選出し議事を開始する
- ・ 執行部より第四号・第五号2号の議案の説明 (松尾事務局長)
- ・ 柴田名誉会長より、修猷館ラグビーOBクラブより釜石シーウェーブに対し送った震災義援金のお礼の報告がなされた
- ・ 佐座監査より監査報告 適正に運営がなされた旨の報告あり
- ・ 引き続き第一号及び第二号の提案 (松尾事務局長)
- ・ 会費納入者をもっと増やすようにとの要望 (星野幹事長)
- ・ 現在全体の3～4割程度、もっと現役のグラウンドに目を向けてもらう努力をし、横縦の連携を深める対策を立てる (松尾事務局長)
- ・ 秋の照明支援は特別会計ではなくグラウンド環境が変わらない限り毎年必要なので一般会計に組み込む(安部会長)
- ・ 今年度より取りはからう(松尾会計担当)
- ・ 現役のヘッドキャップ支援は引き続き計上する (松尾会計担当)
- ・ 関東支部の事務局担当、原大基君による関東支部の近況報告及び七月の東京での新人歓迎会の案内がある
- ・ 満場一致で提出議案のすべてが承認される
- ・ 引き続き岡本先生に対する感謝の宴が催される

以上

平成24年度幹事会

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

役員

名誉会長	柴田忠敏 (S32)
会長	安部直幸 (S41)
副会長	武藤英治 (S45)
副会長	安川裕行 (S44) (関東支部会長)
幹事長	星野順二 (S42)
副幹事長	渕本千陽 (S52)
事務局長	松尾邦雄 (S46)
副事務局長	田中喜久 (S46)
副事務局長	松尾真典 (S52)
事務局IT	河野隆 (S55)
事務局会計	十時広二 (S57)
監査	左座正弘 (S41)

強化コーチ

永田隆憲、山本英二、片淵祐介

幹事

森部信二 (S28)
斉藤雄 (S30)
堀川大助 (S31)
柴戸敬史 (S35)
柴田進 (S41)
原田隆 (S45)
伊佐幸雄 (S50)
濱田政司 (S52)
松本四王起 (S53)
小山一英 (S55)
生越丈夫 (S56)
堀内恭彦 (S59)
野上智之 (S60)
吉田智博 (H7)
渡辺真五 (H14)
坂本 弘 (S47)